

# 「80年目の証言」発行

伝えたい

戦後80年  
過去から  
未来へ



「平和のための信州・戦争展—上伊那」の内容をまとめた記録集「80年目の証言」

上伊那  
実行委

## 体験者の講演や研究成果掲載

昨年(2024年)に伊那市で開催した第35回「平和のための信州・戦争展—上伊那」を主催した上伊那地区実行委員会は、同展の内容をまとめた記録集「80年目の証言」を発行した。今年(2025年)戦後80年を迎える節目に合わせ、同展の中で語られた戦争体験者の貴重な証言や核兵器廃絶に向けた講演、最新の研究成果を掲載。戦争や平和について向き合い、考えを深め、伝える機会にしたいと、展示に来られなかった人を含め多くの人に手に取ってほしいと期待している。

同展の上伊那地域での開催は9年ぶりに行われた。実行委員は趣旨に賛同した30団体で構成。冊子は終戦から80年となる機会に合わせて制作し、当時の体験を証言できる人たちの貴重な声を紹介する。

記念講演のページでは、ノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の国際運

営委員川崎若さんによる「核兵器はなくせ、核兵器禁止条約の展望と私たちができること」を掲載。核兵

## 平和のための信州・戦争展の記録集

器禁止条約の成立過程、戦争ではなく平和の準備をする大切さ、日本が同条約に加わる取り組みなどを伝える。

証言では関東軍防疫給水部(731部隊)の元少隊員、清水英男さん(94)による体験談がある。標本陳列室にあった解剖された人体の標本、捕虜が指を切った血で日本への非難を書いた壁など、現地の様子のほか、昨年に中国の部隊跡地を訪ねた様子についても言及している。

旧日本陸軍による秘密戦兵器・資材を研究開発する組織で上伊那地域に一部が疎開していた「陸軍登戸研究所」や伊那市に建設された陸軍伊那飛行場の最新研究、満蒙開拓に関する子ども向けの本をつくらんと自ら調査してまとめた高校生の発表、教員を戦場に送り出した元教師の証言—といった内容も載せた。

同展の実行委員長を務めた宮下与兵衛さん(72)「伊那市には「体験した人の証言を読まない」と戦争の怖さは分からない。戦争体験を継承していくことは大切。貴重な証言が多く載っているのでも、いろんな世代に読んでほしい」としている。

B5判フルカラー。880円(税込み)で上伊那地域の書店で販売している。郡外の人には事務局より1000円(送料込み)で送る。

問い合わせは事務局の巨田さん(電話090・1867・3074、電子メールtyoshimi0629@gmail.com)へ。

(小坂和史)